

6年	単 元 名	表現の効果を考えて報告しよう
(教科) 国語		

### 1. 単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。  
〔知識及び技能〕(2)イ
- 「書くこと」において、目的や意図に応じて書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ア
- 「書くこと」において、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)エ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや願いを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

### 2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

- 学校図書館を利用し、複数の図書資料を活用しながら情報を収集し、整理・分析したことを防災ポスターにまとめて呼びかけをする。

### 3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報を集める。 ・テーマについてのイメージを共有して分担を決め、必要な情報を集める。</li> <li>○情報を整理する。 ・グループ内の情報カードを交流し、内容を確認、整理する。</li> <li>○割り付けを考える。 ・伝えたい順を話し合っで決め、割り付けを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前に学校司書と連携し、図書館や町立図書館の防災に関する図書資料を集め、ブックリストも作成しておく。</li> <li>○学校司書と連携し、情報カードの使い方や著作権について確認する。</li> <li>○学校図書館の防災に関する図書資料から集めた情報を情報カードに収集する。</li> <li>○引用と要約、効果的な図表やグラフの使い方、ポスター作成の留意点などについて、情報活用スキル系統表に基づいて指導する。</li> </ul>

### 4. 考察（成果や課題等）

- ・それぞれが防災について探究したいテーマを選択し、図書資料を活用して①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 の活動を行った。学校司書作成のブックリストがたいへん有効であった。
- ・学校司書と協働して、毎時間の始めに情報カードの書き方やブックリストの活用法、著作権の問題などの指導を行った。少しずつ積み重ねていくことで、児童の理解も深まっていた。
- ・整理・分析のところで、自分の意見の根拠となるような引用の仕方にまだまだ課題がある。今後の実践を通して、自分の意見の根拠となるための複数資料の活用の仕方を身に付けさせていく必要がある。